

日本徒手療法学会

会長より一言

～必要とされている力～

この号の内容:

会長より一言

1

トピックス

股関節の安定化機構

2-5

研修会アナウンス

6-7

書籍紹介/入会案内

8

今年5月発刊の大阪府理学療法士会誌に「米国理学療法におけるダイレクト・アクセス（開業権）から見た日本の理学療法教育」として執筆させていただく機会を得た。その中で、“理学療法診断”という言葉を使用し、その重要性を強調した。これは、1990年代に米国ではすでに使用された言葉である。理学療法士に何が求められているか、これまで以上に実践力を高め社会に貢献するために何が必要であるのか考えたとき、行き着く先は理学療法診断である。常に申し上げていることであるが、手技の選択、効果の判断、リスク管理など理学療法診断があつて可能である。最近、理学療法士協会の講習会でも以前は避けていた診断という言葉を意識し出していることが散見されるが、これは我々が常に一貫した立場で主張してきたものでもある。何が言いたいのかと言うと、本質を見抜き、つまり最終目標が何であるか設定ができていれば、過程において多少の変更があつても、外から見て明らかに不自然さを感じるブレは生じることはない。このような時代、本質を見抜く力こそ、誰にも特に教育を提供する側に必要なことである。

先日開催された第47回の日本理学療法学会大会（神戸）では、徒手理学療法部門の企画として「徒手療法の最先端のエビデンス up to date」が開催された。そこで徒手療法の根拠が提示された。また、医師を中心とした雑誌「Spine」の最新版では、早期理学療法が医師の診察、手術の必要性を減らすという理学療法の効果について、米国理学療法協会徒手理学療法部会（AAOMPT）の補助金を受けた研究が掲載される予定である。我々が日常おこなっていることが数多くの根拠として証明されることは、この上ない喜びである。しかし、根拠を提示する質の高い研究が出される中で1つの疑問を感じる。質の高いと言われる研究ほど、効果があると結論が出て徒手療法が何に効いているのか（関節の可動性、痛みの閾値など）検証されていることは少ないことである。何について効いているのかという視点があれば、臨床現場では対象となる患者を選択するわけである。患者を選択するためには検査そして診断がされなければならない。このように、考えていくと常に診断に行きつくわけである。周囲が騒ぐことに必ずしも最重要性を伴っているのではなく、本質を見抜くことができれば、周囲に影響されずブレなくて済む。

さて、今年はいよいよ臨床実習を開始する予定である。この臨床実習は現場の理学療法士を対象におこなうものである。講習会で学んだ知識、技術がどのように使用できるか、患者様を診ながら議論し実際の患者様から学ぶ機会である。このような臨床実習を米国セントオーガスティン大学と提携し開始することで、質の高い教育を提供し、臨床現場の質をさらに高めたいと考えている。本年は3名の受講生を募集する予定である。

日本徒手療法学会は、流行にとられすぎず、臨床で何が重要であるのかという本質を見極め、会員の皆様にお役に立てるよう励んでいきます。これまで以上に会員の皆様からのご指導またはご協力をいただき、本質を見極めることに加え、透明性、公平性のある徒手理学療法の発展を目標としていきますので、よろしくお願い申し上げます。

平成24年6月3日

佐藤 友紀



広報委員会
内田武

股関節の安定性機構

人間は四足動物より二足動物へ進化した動物であるが、その進化の過程で重要な働きをした関節はいくつかあるが、特に股関節や足関節の働きは大きいと言われる。しかも猿などのように二足動物はいるが、股関節のほぼ中央を重心線が通過する動物はいない。重心線が通る股関節は、少しのアライメントのズレが荷重連鎖や下肢の安定性という面からも重要な働きをする。しかし、本邦ではその話の中心は脊柱での腹横筋と同様に筋活動になっているように思われる。そこで今回は、“筋以外の”股関節の安定化機構について紹介する。

* 詳細については、会員用のニュースレターをご参照ください。

研修会アナウンス

骨盤帯の評価と治療 (S4) S1受講済みであること

日時: 平成24年10月6-8日(土日, 祝日)

講師: Richard Nyberg (University of St. Augustine)

会場: 関東リハビリテーション専門学校(立川市)

受講費: 60,000円

頸椎の評価と治療 (S3) S1受講済みであること

日時: 平成24年10月20,21, 11月3,4日(土日)

講師: 佐藤友紀 (University of St. Augustine)

会場: 備前病院(岡山県備前市)

受講費: 53,000円

脊柱の評価と治療の基礎 (S1)

日時: 平成24年6月16,17日(土, 日), 7月7,8日(土, 日)

講師: 佐藤友紀, 増井健二

会場: 備前病院(岡山県備前市)

日時: 平成24年11月11,18日, 12月2,9日(土, 日)

講師: 佐藤友紀, 増井健二

会場: 大阪回生病院

受講費 53,000円(前半2日間受講27,000円, 後半2日間26,000円)

腰椎不安定性

平成24年7月29日(日) 9:00～15:00

会場: 大阪回生病院(新大阪駅すぐ)

講師: 佐藤友紀、公森隆夫

会費: 会員7,000円 非会員10,000円

腰椎不安定性の定義、診断、検査、治療などについて実技を含めおこないます。検査から治療までの実技を約2時間含みます。最新の論文で紹介されている安定したすべり、不安定なすべりなど紹介もします。

肩こりの病態と徒手療法

平成24年8月19日(日) 9:00～15:00

会場: 大阪回生病院(新大阪駅すぐ)

講師: 佐藤友紀、増井健二

会費: 会員7,000円 非会員10,000円

諸外国で肩こりはあるのか、何と呼ばれているのか、僧帽筋の病態(Type I 線維、Type II 線維、炎症、血流など)、治療、実技についておこないます。

椎間関節と徒手療法

～変性と炎症についての最新の知見、なぜ腰椎に変性が多いのか～

平成24年9月9日(日) 9:00～15:00

会場: 大阪回生病院(新大阪駅すぐ)

講師: 佐藤友紀、増井健二

会費: 会員7,000円 非会員10,000円

臨床実習

講習会で学んだ知識・技術をどのように臨床現場で使用するのか学習します。

日時: 未定(12月 3日間程度で検討中)

講師: Rob Stanborough

(University of St. Augustine)

受講条件: 認定試験合格または受験済みの会員

脊柱の評価と治療(S1)

日時: 平成24年12月15,16日(土日), 12月23,24日(日、祝)

講師: 佐藤友紀, 増井健二 (University of St. Augustine)

会場: 長野医療技術専門学校(長野県)

受講費: 53,000円

研修会アナウンス

胸腰椎の評価と治療 (S2) S1受講済みであること

日時: 平成25年1月12-14日(土日, 祝日)
講師: Larry Yack (University of St. Augustine)
会場: 関東リハビリテーション専門学校(立川市)
受講費: 60,000円

頸椎の評価と治療 (S3) S1受講済みであること

日時: 平成25年1月19,20, 2月月2,3日(土日)
講師: 佐藤友紀 (University of St. Augustine)
会場: 大阪回生病院
受講費: 53,000円
2月2日のみ 14時30分より開始

筋筋膜の評価と治療 (MF1)

日時: 平成25年2月14-16日(土日, 祝日)
講師: 公森隆夫 (University of St. Augustine)
会場: 備前病院(備前市)
受講費: 50,000円

頸椎の評価と治療 (S3) S1受講済みであること

日時: 平成25年1月19,20, 2月月2,3日(土日)
講師: 佐藤友紀 (University of St. Augustine)
会場: 大阪回生病院
受講費: 53,000円
2月2日のみ 14時30分より開始

筋筋膜の評価と治療 (MF1)

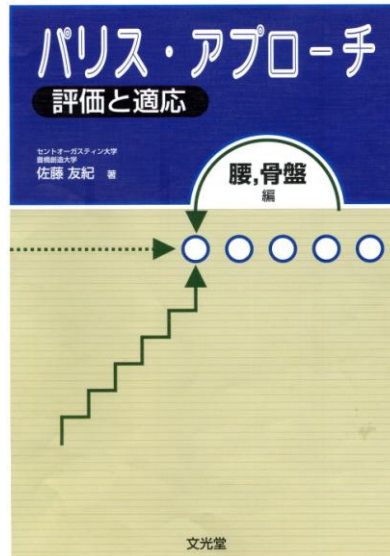
日時: 平成25年2月9-11日(土日, 祝日)
講師: 公森隆夫 (University of St. Augustine)
会場: 備前病院(備前市)
受講費: 50,000円

四肢の評価と治療 (E1)

日時: 平成25年5月3-6日(土日, 祝日)
講師: Michael Turner (University of St. Augustine)
会場: 大阪回生病院
受講費: 74,000円

* E2 は 9 月に開催できるよう交渉中です

書籍紹介



内容の特徴:

解剖を中心として病態を考えるため、徒手療法の治療手技に固執せず、運動・姿勢指導などの重要性を認識できます。多くの治療法を組みあわせることで徒手療法を効果的にする考えで書かれています。これまで”徒手療法をすれば治る”という誤解を、”徒手療法を治療に組みあわせることで治る患者もいる。長期管理が必要となる患者もいる。徒手療法を組みあわせて患者に接することで予防する”といった総合的な治療を再認識させる書籍であります。



内容の特徴:

書籍「Paris・アプローチ 実践編 DVD付 文光堂」が出版されました。腰椎から骨盤の病態、肩こり、胸郭出口症候群、頸椎捻挫など病態と徒手療法の関係、実技について執筆しています。また、サブテーマとして:

- ・ 頸椎捻挫における頸椎への外傷と反射性筋収縮の時間の関係)
- ・ 凹凸の法則の実際(複数の論文から紹介)
- ・ なぜ C6、7 可動性増大が多いのか、などについても記載しております。

実践編の意味として、知識と技術を結びつける役割として考えています。徒手理学療法の限界を考えつつ実践するその原点は機能解剖です。流行のない、原点に回帰した、原則に基づいた書籍です。アマゾンで購入可能ですので、是非一読ください

研究費助成

本学会では研究計画書を提出いただき審査に合格した場合、5万円から10万円の助成を検討しております。詳しくは本学会事務局までお問い合わせください。

対象:徒手療法(診断・検査・治療)に関連した研究。

日本徒手療法学会

スタッフ

会長

佐藤友紀

副会長

増井健二

事務局

藁科 孝佑

教育研修委員会

橋場貴史

西村直樹

ガイドライン検討担当委員会

生田伸二

学術検討委員会

公森隆夫

広報委員会

内田 武

事務局

大阪回生病院

リハビリテーションセンター内
〒532-0003

大阪市淀川区宮原 1-6-10

TEL : 06-6393-8264

FAX : 06-6393-3509

E-mail : jsmt@kaisei-hp.co.jp

Web サイト

URL: <http://jsmt.jimdo.com/>



新規入会手続きについて

入会をご希望の方は、下記の手順に沿って手続きを御願いたします。

入会希望者手続き

① ホームページ(<http://jsmt.jimdo.com/>) 上より Excel のダウンロード

② Excel に必要事項入力

③ 年会費(3,000 円)振込

ゆうちょ銀行 記号 14020 番号 30477041 日本徒手療法学会
他金融機関からの振込み受け取り口座

【店名】 四〇八(読み ヨンゼロハチ)

【店番】 408 【預金種目】普通預金

【口座番号】3047704

日本徒手療法学会

④ 事務局へメール送信(※**入力済みの Excel を必ず添付**)

E-mail : jsmt@kaisei-hp.co.jp

日本徒手療法学会

事務局 大阪回生病院 リハビリテーションセンター内

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目 6-10

TEL 06-6393-8264 FAX 06-6393-3509

E-mail jsmt@kaisei-hp.co.jp